

令和 7（2025）年度 資源評価調査状況報告書（拡大種）

ウスメバル日本海北・中部

対象水域	日本海 (青森県～兵庫県)	参画機関名	青森県産業技術センター水産総合研究所、秋田県水産振興センター、山形県水産研究所、新潟県水産海洋研究所、富山県農林水産総合技術センター水産研究所、石川県水産総合センター、福井県水産試験場、京都府農林水産技術センター海洋センター、兵庫県立農林水産技術総合センター但馬水産技術センター、水産研究・教育機構水産資源研究所 底魚資源部
------	------------------	-------	--

- ・ 令和 6 年度資源評価調査報告書を公表済み（https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_089.pdf）、次回令和 9 年度を予定

(1) 調査の概要

- ・ 青森県は漁獲統計調査および収集された資料の総括を実施
- ・ 機構は各府県調べの漁獲量を集約
- ・ 各府県は漁獲統計調査を実施
- ・ 青森県・新潟県では市場測定を実施
- ・ 本年度は資源評価調査報告書の作成は行わず、漁獲統計等の更新および関連情報の収集を実施

(2) データ収集状況

- ・ 青森県では日本海～陸奥湾の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み、市場測定データを収集中
- ・ 秋田県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 山形県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 新潟県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み、市場測定データを収集中
- ・ 富山県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 石川県では主要10港の2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 福井県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み、2016～2019年を精査中
- ・ 京都府では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 兵庫県では2020年以降の月別漁法別漁獲量を収集済み
- ・ 機構は2024年の各府県調べの漁獲量を集約

(3) 生物学的特性

- (1) 分布・回遊：令和6年度資源評価調査報告書を参照 (https://abchan.fra.go.jp/wpt/wp-content/uploads/2025/03/trends_2024_089.pdf)
- (2) 年齢・成長：同上
- (3) 成熟・産卵：同上
- (4) 被捕食関係：同上

(4) 備考

・遊漁による採捕が多いと想定されていることから、遊漁の影響をどのように評価に組み込むか検討が必要